

フロア21 ホットニュース

社長 小池潔のあれこれコラム

「いわさき ちひろ」

1918年に誕生した「いわさきちひろ」。今年が生誕100年になる。ちひろは子供を中心に水彩画で描き、その色使い、水彩のにじみを生かした透明な作品は見るものに無限の想像力を与えてくれる。

私のいとこの嫁の実家が神田にあり、1940年代、ちひろがその神田の家に下宿をしていた時期があった。その頃ちひろが初めて仕事らしいものを手掛けたのが「ヒゲタ醤油」のポスターだった。そのポスターのモデルになったのがいとこの嫁とその妹だった。

そのようなちひろとの縁があり、ちひろが下石神井に家を建て、いとこの嫁にお呼びがかかった。嫁の旦那の都合がつかず、ちひろのファンでもあり自分でも絵をかいていた私の兄がお供をすることになった。

その頃私は小学6年、兄との二人暮らしをしていて「きよし、一緒に来るか」言われたが「僕は待ってます」と断った。

下石神井の家でバーベキューをした話や、一人っ子の猛君のこと、ちひろが幸せなこと、などを帰ってから話してくれたことを今でも鮮明に覚えている。

2011年東日本大震災が東日本とりわけ東北3県に大きな被害を与えた。さくら並木ネットワークを立ち上げた折、津波の恐ろしさ、人の優しさや助け合う心、生き抜き力などを題材にした短い物語をつくった。これを絵本にして多くの人に見てもらいたいと考えた。

その作家は、いわさきちひろの孫娘、松本猛の娘、松本春野にお願いしたいと思いい連絡を取り何度かお会いした。春野ちゃんは大賛成してくれたのですが、すぐにNHKの番組で「もたさんの言葉」が入った。

一週間に1度何枚かのイラストと共に「もたさんの言葉」を伝える番組だった。「1年間その仕事に専念したい」と言われた。「もし1年後なら」描けますと言ってもらえたのだが、この話も流れてしまった。

春野ちゃんはちひろの没後に生まれた。ちひろの存在が大きく、美術大学に通い絵を志した。作風は違うがちひろのアイデンティティはしっかり受け継ぎ現在でも素晴らしい仕事を続けている。

ちひろは生涯一貫してこどもの幸せと平和を追い続けてきた画家です。広島や長崎の原爆、ベトナム戦争で犠牲になった子供たち。

人の技術ではコントロールできない微妙な水彩、水の作り出す微妙な流れが少女の感情を作り出す。涙を描かなくてもそこに涙を感じさせてくれる。二度と現れることがないと思われる素晴らしい水彩画家です。

いつも大きなチャンスを逃している私ですが、この60年前の「下石神井行」のチャンスを逃したのは今でも大きな悔いが残ります。

OFLの部屋

皆様こんにちは

日に日に秋が深まり、怒涛の年末も徐々に近づきつつありますが、心の準備と商品の準備はいかがでしょう。

そこで今回は、今週行われたドライフェアの中から、まだ在庫のあるおススメの商品と再来週から店頭へ並べる予定のドライワックスを一早くご紹介いたします。

Phalaris





Delphinium



Annaplatis



Sanfordii

pinecone small open (全 8 種類)

スタンダードな松かさサイズ



pinecone open with stem (全 5 種類)

スタンダードな枝付き松かさサイズ



Eucalyptus fruit with stem (全7種類)

ステム付きのユーカリの実



Mix fruit box (全9種類)

色々種類入ってます





cypress with stem (全7種類)

ヒノキの実 枝付き



asparagus (全4種類)

バラして使用する用



wreath aspragus on iron frame (全18種類)

そのまま飾れます

casurina on stem (全9種類)

モクマオウの木の实ステム付き



Ammi majus box (全3種類)

レースフラワーの首の部分



cypress (全5種類)



casurina mini (全4種類)



紙面の都合上、全種類は掲載しておりませんが、WEBショップでも先行販売しておりますので、そちらもご覧ください。

FLORE21@shop

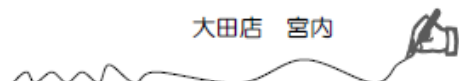
unique materials for you

花の魅力を最大限に引き立てるヨーロッパ直輸入のラインナップ

>> [click here](#)

<https://flore21.shop/login.php>

大田店 宮内



世田谷店おすすめ

秋の南房総

敬老の日・お彼岸・お月見と9月の行事がようやく終わりはしたものの秋の長雨に台風の上陸。

すっかり寒くなってしまいました。

今回は旧丸山を中心とした南房総市に伺いました。

彼岸花があちらこちらに。



圃場にお邪魔する前に千倉から白浜までの海岸に。

海岸線に多く見る事のできる銀葉グミ。

曇天で雨が降り出す前で あまり鮮明ではない写真です。

今夏の暑さと幾度の台風により葉やけや傷みが多いようですが本来は丈夫な植物との事です。



最初に**金井園芸さん**です。

ただいま最盛期の**オードリーピンクインプ**

まだまだ濃い緑の山並みにライトグリーンと薄桃の千日紅の絨毯は鮮やかです。

どんよりとした空の下。つい感嘆の声です。

オードリーホワイトを束ねる女性スタッフは一本一本長さを計り選花と結束作業を同時に行なっています。→



彩雪



レッドストーン



オレンジストーン

ダリアも最近は蕾みをつけての出荷もあるようです。



左：ヒマワリはハロウィンに向けて 10月上旬から月末まで続くように植える時期を

変えられています。

中：かすみ草のプチパールは花・草丈・枝はり 全てコンパクトは既に出荷している所から、作付けしたばかりの畝までヒマワリ同様に出荷期間を考えられています。

右：きらきらレースでお馴染みの金井園芸さんのWレースフラワーも成育は順調出荷の始まりも近いようです。



つづいて青木園芸さんに伺いました。アジサイは何度も皆様にご紹介の通りです。

この日も状態良く出荷の準備が進んでいます。温度・環境管理もされた出荷場です。



今回注目は **ダイアンサス キウイシリーズ**です。



草丈は 40~50cm 見事なくらいに大きさが揃っています。



レディグリーン

キウイブーム

キウイメロウ

キウイチェリー の 3 種が微妙に先端

の色が違う事により表情が変わっています。

φ3~5cm は可愛い毬です。

事務所に活かされていた中に 一輪だけ開花が出ている
お茶目なキウイ。規格外につい目がいってしまいます。
可愛いでしょ。





今や何棟も立派なハウスがあり、ピカピカの選花場もありますが、その前にあるレースフラワーの初代選花場も健在です。

ちょっと嬉しくなりました。

何より嬉しいのが青木園芸の社長初代と二代目のこの笑顔

二代目社長の話を初代は目を細めながら頷き一言二言。

仲悪いんです。と照れながら並んでくださいました。嬉しい限りです。



休憩室にはフローレ 21 でのフェアお知らせのパネルを飾って下さっていました。

これまた嬉しく。

3 件めは折原園芸さんです。

金井さんのところから青木さんのところに移動中 ハーブ畑を通過





バジルの花が秋色に良く似合いますよね。
ただいま花盛り。

ホワイトレース 40 棟の中から順序良く
生育良好です。ハウスの中はふかふか。



これから出荷のコスモスピコティ
一輪目をピンチし枝を硬くして切るとの事。





ハウスは **129棟**の折原園芸。
スタッフ 30 名。ベトナムからの研修生も。
元気に雨の中作業に出かけていきました。



折原社長は草刈に忙しいこの季節。
お山のアスナロの下草や土手の草刈を。この時期に大切な仕事。
次のシーズンに関わるそうです。
NEW ユンボがまたまた草刈を楽しくしてくれているそうです。
前社長にはお目にかかれず残念でした。

次に折原花園さん

なんと葉牡丹の名人。

大田店の小林店長をお気に入りのようで、突然作業場の前に現れ驚くけれど、いろいろ教えてくれるんだよ。と嬉しそうです。



今でも出荷できそうな最高の状態です。
ほんとうにきれいです。



葉ボタンの周りには
虫除けのヒエが植えられています。
露地とは思えない葉ボタンが勢ぞろいです。
今年はブラックに挑戦だそうです。

12月を楽しみにしたいと思います。



おまけです。



移動中 ちょっと立ち寄り

シミ一つないジニアの美しい顔にお目にかかりました。



本格的にはこれから
年内に出荷は始まります。
鈴木ヒロヒトハウスです。
年が明けたらまた出かけましょう。
今回の南房総を助けてくれた
この方に感謝です。
どの圃場もきれいでした。

かつては 今回伺ったかたがたに伊東花園さん・長作園さんにも伺う強行スケジュールを組んでいました。

久しぶりに皆様にお目にかかれ旧きを大切にしながらどんどん新しくなっている南房総はますます魅力いっぱいです。皆様ありがとうございました。

世田谷店 落合芳味

仕入れの素★葛西店

「Field bouquet」

「Amsterdam bouquet」

「Picking bouquet」

「Bloomon bouquet」



さて、早速ですが、これらの読み方はなんでしょう？

はい！答えは・・・。

『フィールド ブーケ』

『アムステルダム ブーケ』

『ピッキング ブーケ』

『ブルームオン ブーケ』

と読みます。簡単ですねwww。



では、これらの名称は、どんなスタイルの花束の種類でしょうか？

答えは・・・

この画像のブーケの総称です！！

はい！4つの名称とも同じブーケのスタイルの総称として呼ばれてます。
他にもいくつか呼び方があるらしいですが、正式な名称はないようで多く呼ばれているのは『フィールドブーケ』か『ブルームオンブーケ』でした。

どこで？ ってなりますが、花生け先進国の『オランダ』です。

このブーケのスタイルが流行っています。
街の花屋さん、スーパーの花屋さんで、多くの花屋さんに取り入れていました。



この花束はオランダのアムステルダムから南西に位置する都市

『Leiden (ライデン)』
の花屋さん。

このお店の方は『Bloomon bouquet』と呼んでいました。

『Bloomon』とはオランダでネット販売を展開している会社名。
2014年ごろから提案していき流行っていったことから、このスタイルが『ブルームオンブーケ』と呼ばれる事が多くなったようです。

では、特徴は？と言うと・・・

『1 品種を 1 本ずつで組み合わせる花束』

- 異なった形、質感の物を組み合わせる事。
(組み合わせは自由ですあしからず、)



いままでビデマイヤー（丸型、ギュッとした）主流で型にはまったなかでしか花の表情がいかされなかった、色だけでしかなかったブーケ。それが、花一輪一輪の動き、表情を自然に束ねるのがこのスタイル。新しさがあり、また本来あるべき形なのかなとも思います。植物のそのままの美しさを楽しむブーケですね。







